

資 料

訪問介護サービス事業状況調査

日本労働研究機構

(ご協力のお願い)

この調査は、介護保険導入後の在宅介護サービス事業、とりわけ訪問介護サービス事業の現状や今後の展開を把握するために、労働省所管の公的な研究機関である日本労働研究機構が労働省から研究要請を受けて行うものです。

ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、貴事業所のお名前が出たりご迷惑をおかけすることは決してありません。また、この調査に基づく研究結果は報告書にまとめ、ご協力いただいた事業者の皆様や関係機関に提供する予定です。ご多忙の折まことに恐縮でございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成12年12月

調査担当 日本労働研究機構 勤労者生活研究
堀田千秋 電話 03-5991-5112 (直通)

(ご記入上のお願い)

1. あてはまる答えの番号に○印をつけるか、該当する数字をご記入ください。
2. 調査内容は、**2000年10月末日現在**の状況についてご記入ください。
3. 同封の返信用封筒(切手不要)で**10日以内**をめどにご返送ください。
4. 調査について不明な点がございましたら上記の調査担当までお問い合わせ下さい

(注) 票中の数値は、同一法人が経営する事業所を除く3,671所を母数とする構成比。
なお、問いの末尾に(*)印のあるものについては中央値(問6のみ平均値)

I 訪問介護サービスの利用実態についておたずねします

問1. 貴事業所での訪問介護サービスの利用者数について、それぞれの時期の1ヶ月あたりの実績を記入してください。(*)

	合 計	主なサービス内容		
		身体介護が中心	家事援助が中心	複合型が中心
平成12年10月末日現在	29 人	9 人	11 人	4 人
平成12年4月時点	18 人	5 人	7 人	2 人
平成12年3月時点	0 人			

問2. 介護保険開始当初、訪問介護サービスの利用者数を1ヶ月あたり何人程度と予想していましたか。(*)

	合 計	身体介護が中心	家事援助が中心	複合型が中心
保険開始当初の予想	30 人	10 人	10 人	5 人

問3. 1回あたりの利用時間はどの時間区分が多いですか。3つのサービスのそれぞれについて、最も利用者の多い時間区分1つに○をつけてください。

	1回あたりの利用時間			
	30分未満	30～60分未満	60～90分未満	90分以上
a. 身体介護	19.7	45.7	14.5	9.3
b. 家事援助	0.9	34.5	27.2	27.2
c. 複合型	0.5	22.3	32.2	31.0

II 利用者の確保・開拓についておたずねします

問4. 貴事業所における現在の利用者の確保は十分ですか。(1つだけ○)

1	十分には確保できていない	44.5
2	どちらかといえば十分に確保できていない	26.6
3	どちらかといえば十分に確保できている	22.0
4	十分に確保できている	4.8

問5. 新規の利用者については、どのような経路で依頼・申し込みを受けるケースが多いですか。(1つだけ○)

1	医療機関からの紹介	7.7	4	利用者からの直接の申し込み	16.3
2	在宅介護支援センターからの紹介	49.5	5	その他()	18.7
3	福祉事務所や民生委員からの紹介	2.7			

問6. 新規利用者のうち、利用者からの直接の申し込みは何パーセント程度をしめますか。(※)

19.8 パーセント

問7. 貴事業所で利用者の確保にあたって工夫している点、苦勞している点などについて、具体的にお書きください。

Ⅲ ホームヘルパーの募集と採用についておたずねします

問8. ホームヘルパーの募集方法について、当てはまるものすべてに○をつけてください。
また、採用者の最も多いルート1つに◎をつけてください。

		(○の比率)
1	自社で行なっているホームヘルパー養成講座の修了者を勧誘	25.4
2	ハローワーク（公共職業安定所）に求人募集	35.1
3	専門学校等に求人募集	7.3
4	新聞やチラシ、就職情報誌に求人広告	32.7
5	従業員の縁故を利用	29.4
6	近隣に募集ポスターなどの張り出し	6.3
7	他社に勤めているホームヘルパーへの働きかけ	2.8
8	各地で行なわれているホームヘルパー講習の受講生を勧誘	18.9
9	その他（ ）	21.4

問9. 現在の利用状況からみて、ホームヘルパーの人員は不足していますか、多すぎますか。
(1つだけ○)

1	非常に不足している	9.9
2	やや不足している	43.6
3	過不足なく適当な状態である	35.4
4	やや多すぎる	8.1
5	非常に多すぎる	1.3

問10. 雇用するホームヘルパーの数を、今後どのようにしていく予定ですか。(それぞれ1つだけ○)

正社員ヘルパー：雇用期間に定めなく常勤の、いわゆる「正規雇用」のヘルパー。
パートヘルパー：毎週継続的に一定時間仕事に就いている、正社員より1日の労働時間が短いか1週の所定労働時間数が少ない、いわゆる「非正規・非常勤」のヘルパー。
登録ヘルパー：1週間の労働時間数が決まっておらず、ヘルパーが必要な時だけ依頼されて不定期に仕事に就いている、いわゆる「登録型」のヘルパー。

	減らしていく	現状を維持	増やしていく	未定
a. 正社員ヘルパー	10.2	55.3	13.5	9.7
b. パートヘルパー	2.3	20.9	39.4	20.3
c. 登録ヘルパー	1.6	11.2	57.8	17.1

問11. パートヘルパーや登録ヘルパーを雇用するのは、どのような理由からですか。(いくつでも○)

1	1日の時間帯や曜日による業務量の変動に対応するため	81.0
2	パートや登録でも、資格を持つ人は十分に専門的知識・技能があるから	39.6
3	専門的知識・技能を必要としないから	0.5
4	正社員を確保することが難しいから	24.1
5	人件費が割安なため	55.4
6	景気や社会変化による需要の変動に対応するため	31.1
7	地域の生活者として業務に役立つ知識・経験を持っているから	15.7
8	その他 ()	3.1
9	パートや登録のホームヘルパーは雇用していない	4.7

問12. パートヘルパーや登録ヘルパー採用の条件として、何を重視しますか。(いくつでも○)

1	資格	76.1
2	ホームヘルパーの経験	30.3
3	人柄	84.8
4	意欲・やる気	80.0
5	体力	32.6
6	勤務できる曜日や時間の融通性	69.0
7	訪問地域の近くに住んでいること	30.3
8	その他 ()	1.5

問13. パートヘルパーや登録ヘルパーの採用にあたって、どの年齢層の人を特に希望しますか。(1つだけ○)

1	29歳未満	1.9
2	30～39歳	21.8
3	40～49歳	32.2
4	50歳以上	2.7
5	年齢にはこだわらな	35.4

IV 雇用管理と福利厚生についておたずねします

問14. 賃金や雇用に関する以下の制度や手当がありますか。3つの雇用形態のそれぞれについて、現在行われているものに○をつけてください。(いくつでも○)

		正社員 ヘルパー	パート ヘルパー	登録 ヘルパー
(1) 労災保険	→	82.4	43.3	29.7
(2) 雇用保険	→	85.2	32.7	6.9
(3) 健康保険	→	82.5	23.1	3.0
(4) 就業規則	→	84.0	44.0	29.8
(5) 賃金規則	→	73.2	42.6	35.7
(6) 定期昇給制度	→	63.6	10.3	4.2
(7) 昇給・昇格制度	→	56.5	10.6	5.0
(8) 賞与	→	77.4	20.5	6.6
(9) 退職一時金・年金制度	→	65.9	6.6	0.7
(10) 通勤手当	→	79.4	33.6	16.1
(11) 利用者宅までの交通費の支給	→	33.2	30.1	34.9
(12) 家族手当	→	46.6	1.6	0.4
(13) 年次有給休暇	→	79.0	28.1	7.5
(14) 事故時等の損害保険	→	79.0	50.9	48.3
(15) 安全・災害防止施策	→	46.7	28.7	23.7
(16) 被服等の貸与	→	74.6	47.3	39.8
(17) 定期健康診断	→	77.4	40.7	27.0
(18) 腰痛などの健康面の対策	→	33.8	22.3	17.0
(19) 精神的ストレスの緩和・サポート	→	30.0	22.2	20.2
(20) 介護技術の実習	→	63.3	41.7	40.2
(21) 接客・接遇に関する集合研修	→	46.1	30.1	27.5
(22) 安全・衛生に関する集合研修	→	46.4	30.5	28.8
(23) その他 ()	→	4.1	2.7	3.1

V 訪問介護サービス事業の経営についておたずねします

問15. 貴事業所の訪問介護サービス事業のセールスポイントは何ですか。(いくつでも○)

1	これまでの実績と知名度の高さ	41.6
2	質の高いヘルパーの派遣	63.1
3	介護保険外のサービスも含めた多様な介護サービスの提供	47.7
4	利用者からの要望や苦情に対応する窓口の設置	48.6
5	24時間介護	20.2
6	利用者の食事の好みや希望等細かな点にも配慮したサービスの提供	46.1
7	週単位で変更も可能なケア・プランニングとその実践	41.7
8	医療機関や介護保険施設との密接な連携に立ったサービスの提供	49.3
9	その他 ()	2.6

問16. 訪問介護サービス事業のセールスポイントを高めるために、貴事業所で工夫している点、苦勞している点などについて、具体的にお書きください。

問17. 現在、訪問介護サービス事業をすすめるために提携している医療機関や施設がありますか。(いくつでも○)

1	医療機関	50.1
2	他の在宅介護サービス事業者	38.4
3	介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など)	40.8
4	デイサービスセンター、デイケアセンター	48.5
5	訪問看護ステーション	38.7
6	その他 ()	6.0
7	特になし	21.6

問18. 訪問介護サービス事業の現在の収支はいかがですか。(1つだけ○)

1	赤字である	55.8
2	収支トントン	32.4
3	黒字である	9.8

問19. 訪問介護サービス事業が軌道に乗るのは、何年後と思われますか。()内の数字が(*)

1	(3) 年後	76.8
2	すでに軌道に乗っている	12.3

問20. 今後、訪問介護サービス事業をどのようにしていくお考えですか。(1つだけ○)

1	撤退を考えている	1.0	4	徐々に拡大していく	40.2
2	縮小していく	1.3	5	積極的に拡大していく	11.5
3	当面は現状維持を続ける	40.5	6	未定	3.4

VI 介護サービス事業全体の経営についておたずねします

問21. 現在手がけている介護サービス事業について、あてはまるものすべてに○をつけてください。また、その中で最も主力となっている事業1つに◎をつけてください。

		(○の比率)			
1	訪問介護	97.1	10	配食サービス	18.8
2	訪問入浴介護	20.9	11	外出介助・移送サービス	15.3
3	訪問看護	14.1	12	介護老人保健施設	5.4
4	訪問リハビリテーション	4.7	13	特別養護老人ホーム	13.5
5	通所介護(デイサービス)	33.3	14	軽費老人ホーム(ケアハウス)	4.4
6	通所リハビリテーション	8.3	15	痴呆性老人グループホーム	2.8
7	短期入所サービス	19.6	16	有料老人ホーム	0.5
8	福祉用具貸与・販売・住宅改修	17.5	17	ホームヘルパー養成講座	14.7
9	居宅介護支援事業	66.2	18	その他()	3.4

問22. 今後力を入れていく介護サービス事業を、重視する順に3つまで、問21の項目番号で記入してください。

1 番目 ()

2 番目 ()

3 番目 ()

問23. 介護サービス事業全体の現在の収支はいかがですか。(1つだけ○)

1	赤字である	45.7
2	収支トントン	35.7
3	黒字である	14.5

問24. 介護サービス事業全体が軌道に乗るのは何年後と思われますか。(○内の数字が*)

1	(3) 年後	75.0
2	すでに軌道に乗っている	13.2

問25. 介護サービス事業全体の今後について、どうお考えですか。(1つだけ○)

1	撤退を考えている	0.7
2	縮小していく	0.9
3	当面は現状維持を続ける	39.4
4	徐々に拡大していく	42.0
5	積極的に拡大していく	10.5
6	未定	2.9

問26. 介護保険制度の導入が介護サービス事業全体の経営や事業収益に与える影響をどのように評価していますか。(ひとつだけ○)

1	マイナスになっている	23.9
2	プラスとマイナスが相半ば	42.6
3	プラスになっている	20.4
4	ほとんど影響がない	3.7
5	その他 ()	3.9

Ⅶ 経営および雇用管理における問題点についておたずねします

問27. 現在、経営において何が問題となっていますか。(いくつでも○)

1	運営コストが大きく利益が出にくい	49.3
2	初期投資が大きく利益が出にくい	19.2
3	介護報酬の計算、請求などの事務作業の負担が大きい	58.6
4	利用者が散在していてロスが多い	27.2
5	介護保険の報酬単価が低すぎる	68.7
6	利用者とのトラブルが多い	2.0
7	地域における知名度が低い	12.4
8	民間のサービス業者との競争が激しい	11.7
9	公的な福祉サービス機関との競争が激しい	20.1
10	サービス内容の差別化がむづかしい	17.3
11	利用者の開拓・確保がむづかしい	43.0
12	利用者への情報提供・PRがむづかしい	22.7
13	利用者のニーズが多く対処できない	5.7
14	行政や他機関との連携・交流が薄い	13.8
15	介護の仕事に対する社会的評価が低い	33.1
16	その他 ()	3.5

問28. 現在、人材の確保や雇用管理において何が問題となっていますか。(いくつでも○)

1	仕事に人の確保が追いつかない	23.3
2	募集・採用がうまく行かない	25.6
3	定着率が悪い	10.0
4	ホームヘルパーの質が低下している	10.9
5	人材育成・教育をする余力がない	39.4
6	多様な就業形態があり雇用管理の事務等が煩雑である	27.7
7	異なる職種や就業形態の人たち間のコミュニケーションがとりにくい	17.5
8	勤務のローテーションの組み方がむづかしい	44.7
9	職場のチームワークがうまく行かない	7.4
10	事業所外の仕事が多く、上司の目が行き届かない	14.1
11	能力や業績に応じた賃金体系になっていない	25.0
12	休日・休暇がとりにくい	41.3
13	その他 ()	3.7

VIII 貴事業所についてお答えください

F 1. 所在地

() 都道府県 () 市区町村

F 2. 設立時期

昭和・平成 () 年 () 月

F 3. 在宅介護サービス事業全体の従業員数

1. 資格を持っている人数について、「ケアマネージャー」と「看護婦」といったように、2つ以上の資格を持っている人については重複して記入してください。
 2. 「登録ヘルパー」は10月の1ヶ月間に実働実績のある者の人数を記入してください。

	正規従業員	パート従業員	登録ヘルパー
全 体	人	人	人
(その内、以下の資格を持っている人)			
1. ケアマネージャー (介護支援専門員)	人	人	
2. 看護婦または保健婦	人	人	
3. 介護福祉士またはヘルパー2級以上	人	人	人

F 4～F 6 は訪問介護サービス事業についておたずねします

F 4. 訪問介護サービス事業の1ヶ月あたりの売上高、平均客単価 (*)

(1) 介護保険開始当初の予想

(2) 最近1ヶ月の実績

a. 売上高 (1110) 千円
 b. 平均客単価 (40) 千円

a. 売上高 (1162) 千円
 b. 平均客単価 (40) 千円

F 5. 時間給ホームヘルパーの時間当たり賃金単価 (1つだけ○)

(日給などの場合は時間給に換算し、一番人数の多い金額に○をつけてください)

a. 身体介護

b. 家事援助

1	800円未満	3.8
2	800円～1000円未満	20.6
3	1000円～1200円未満	18.9
4	1200円～1400円未満	14.1
5	1400円～1600円未満	18.7
6	1600円以上	10.5
7	該当者はいない	5.0

1	800円未満	6.3
2	800円～1000円未満	37.3
3	1000円～1200円未満	34.1
4	1200円～1400円未満	6.8
5	1400円以上	1.9
6	該当者はいない	

F 6. パートヘルパーおよび登録ヘルパーの直近の1週間における就業時間別の人数を記入してください。

	1-5時間未満	5-10時間未満	10-20時間未満	20-30時間未満	30時間以上	登録未就業
パートヘルパー	人	人	人	人	人	
登録ヘルパー	人	人	人	人	人	人

F 7～F 11は貴事業所を営んでいる法人についておたずねします

F 7. 経営形態

1	株式会社	14.2	5	協同組合（生協、農協など）	6.0
2	有限会社	14.5	6	社会福祉協議会	22.3
3	医療法人	9.4	7	NPO法人	2.9
4	社会福祉法人	22.0	8	その他（ ）	5.7

F 8. 貴法人の在宅介護サービス事業の開始時期

昭和・平成（ ）年（ ）月

F 9. 貴法人が在宅介護サービス事業を展開している地域

1	区市町村内	84.1	4	全国	2.6
2	県下全域	3.4	5	その他（ ）	3.9
3	地方ブロック	0.8			

F 10. 貴法人の事業所数は、全部でいくつありますか。（*）

2 事業所

F 11. 経営母体の経営形態

（貴法人が、他の企業・法人の子会社やフランチャイズの場合にお答えください。）

1	株式会社	5	協同組合（生協、農協など）
2	有限会社	6	社会福祉協議会
3	医療法人	7	NPO法人
4	社会福祉法人	8	その他（ ）

◇介護サービス事業における経営・雇用管理上の問題やその他諸々の問題について、ご意見や感想をご自由にお書きください。

◇この調査の結果報告書を希望される方は、下記に連絡先をお書きください。

ご住所（〒 — ）

事業所・担当者名

ご協力ありがとうございました。